

9. 地域社会の職業的な横断面を表すべきで、可能な限り地域に存在する職業分類を網羅することが必要。  
10. 会員数が増えて現在の会場では狭すぎるときには拡大を検討する。

今日の一言：「もし議論に勝ったとしても相手の名譽を奪うだけで、人の生き方は変えられない」坂本龍馬

## プログラム

### クラブフォーラム「会員増強」

1. 本日は、恒例行事になっている「会員増強」を皆さんで考える、クラブフォーラムです。それに先立って、最近の会員動向を説明し、今後の「会員増強運動」に対してのご理解とご協力をお願い致します。

2. 会員減少の現実に目を向け、仲間を増やす行動を起こして頂きたい。6/30地区会員増強セミナーでは地区、ひいては日本全体の会員数減少の現実に危機感を訴えていた。

(1)会員数の減少	日本全体	2650 地区	武生 RC
1977.7.1(H8)	6,703	地区のピーク	86
2006.7.1(H18)	98,737	5,201	67
2011.7.1(H23)	87,707	4,600	64
2012.7.1(H24)		60 (前期末▲1)	
(H24-H18) ▲11,030	▲601	▲7	約1割減少

3. 6/30地区会員増強セミナーでの平井PGの基調講演では以下の事を強く訴えていた。

(1)会長が率先して、(i.e クラブを挙げて)活動して欲しい。  
(2)RCに魅力が無い、ロータリアンの質が低下してきている。このような状態では入会を勧めることは難しい。

(3)地域の人はロータリアンの背中を見ている。  
(4)ロータリアンとしての「襟を正す行動」をして欲しい。

(5)現役のうしろ姿、奉仕する姿、を示して欲しい。

ロータリアンとしての自覚と、見本的行動を望みたい。

4. 河本Gは7/17の公式訪問の時、RC会員の義務は①出席と ②寄付の二つの言葉に集約されるとガバナーなりの「ロータリー観」を披露した。

更に続けて私達ロータリアンが新会員の入会を勧誘（進める）に当たっての心構えを訴えた。

(1)会長・会員がロータリアンである事に誇りを持つ事。  
(2)無理矢理入れるのでなく、理解して入会して貰う事。  
(3)止めた人を無理矢理引き止めても効果はない。

(4)入りたい人に多く入会して貰う事が良い。  
(河本G自身) 大津クラブ会長時代を含め、殆んど増

強活動をしてこなかった事を反省している。  
私の年度に会員数が結果として増えなくても良い、次年度につなげて欲しい。  
5. (私の身近な提案)

私達現役ロータリアンの行動や背中を地域の方々が厳しい眼で見つめ、評価している現実を再認識し、あのような人達が会員であるクラブならば是非私も加えて頂きたいと云うクラブ・会員である事が仲間を増やす大きな条件であると確信します。

そこで私は身近な提案をさせて頂きます。SAAさんの御力をお借りして、更に前進して行きたいと思います。

- (1)例会時の携帯電話マナー。
- (2)私語を慎む：前で卓話し、報告する人が、十分な準備をし、真剣に話している事に敬意を示す事。
- (3)例えば、芸子さんが舞台で舞っている時は、私語を慎み、芸を鑑賞すること。彼女等は芸に命を賭けている。
- (4)ロータリーバッジ着用の義務（万一の場合の、ニコニコ抛出）。
- (5)出席の義務の再認識（万一の場合のメーキャップ）。
- (6)日本人としての誇り：①まずは、国旗掲揚の模範となる。

6. 本日のクラブフォーラムで推薦された候補者には、誠意を持って調査勧説に務めます。



### 8月誕生日お祝い …… 5名

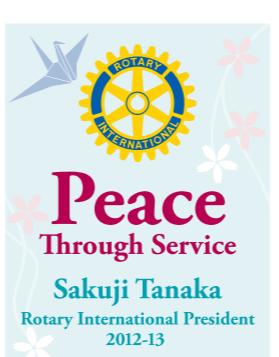


### 8月連続出席お祝い …… 4名



### ニコニコ箱 …… 20,500円

- |        |       |        |
|--------|-------|--------|
| ○佐々木会長 | ○渡辺佳男 | ○玉村一男  |
| ○藤井洋造  | ○倉橋孝治 | ○京藤敏実  |
| ○石本茂雄  | ○中西真三 | ○三田村士郎 |



# TAKEFU WEEKLY

Rotary Club of Takefu

創立／1954年（昭和29年）6月30日

事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内

TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

例会日／毎週火曜日 例会場／武生商工会館

会長／佐々木忠彦 幹事／河嶋一 会報委員長／丹羽新吾

2012-2013 第2650地区テーマ  
隔たりをなくそう

### 第2831回 例会記録 平成24年8月7日(火)

会員総数61名（内出席免除会員8名） 本日出席会員37名

メークアップ（前々回） 7名

出席率（前々回補正） 81.48%

「君が世」齊唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

### 会長挨拶 佐々木会長

日本の夏は昔に比べて夏は信じられない程暑くなり、日本は熱帯になったのと思われる程ですが、そんな中でも植物はすくすくと育ち、驚かされます。我が家でも、先月からネムの木、クチナシなどが次々に花を咲かせています。とりわけネムの木は花も綺麗ですが、夕方になると、葉が閉じて眠りの態勢に入り、朝日を浴びるとまた開くところがなんとも愛らしいです。



今年は昨日が立秋ということになります。初めて秋の気配が現れてくる頃とされます。夏至と冬至の中間で、昼夜の長短を基準に季節を区分する場合、この日から立冬の前日までが秋となります。暦の上ではこの日が暑さの頂点となります。天気予報などで「今日は立秋。暦の上では秋に入りましたが、相変わらず暑いですね。」などというコメントがありますが、徐々に暑さが緩むのはその翌日からなので、このコメントはおかしいのです。又、翌日からの暑さを「残暑」といい、手紙や文書等の時候の挨拶などで用いられます。また翌日から暑中見舞いではなく残暑見舞いを出すことになります。この日に至っても梅雨が明けない場合は、「梅雨明け」の発表はされなくなります。それ故に、東北地方などでは「梅雨明けなし」ということが過去に何度かありました。全国高校野球選手権大会も立秋通りで、今年は8月8日ですが、開幕を迎えます。

### 会員増強の意義

1. 毎年会員の自然減が5～10%とみられ、このためにも毎年新しい会員の補充が必要。
2. 組織を生き生きとさせるためには常に新しい血の導入が必要。
3. クラブ活性化のため、老・壮・青のバランスを保ち、若返りが必要。
4. 会員増強と拡大は、毎年RI会長の最重要課題であり、その課題に取組むのは当然。
5. 誰かの推薦によって自分は入会したので、この特典を他の人にも分かち合いたい。
6. 会員増強は財政や奉仕活動推進のために大きなプラスになる。
7. ガバナーの任務の最大課題は会員増強と拡大だ。ロータリーは創始以来、貫して会員増強に努めてきた。
8. 奉仕活動上、プロジェクトの数や規模にとって有利となる。

「ロータリー希望の風奨学金」の特集記事が「ロータリーの友（8月号）」に掲載されました。記事内容としては、

①「12地区合同プログラム」であること。（第2650地区を含む）②今日に至るまでの経緯について

③奨学生の内容、奨学生の素顔と感謝の言葉、などが骨子となっております。

ロータリーの特別月間としては、8月は「会員増強及び拡大月間」です。会員増強には、内部拡大、外部拡大の2つがあります。内部拡大はクラブの区域内で得られている的格な職業分類の代表者に入会してもらい、クラブの会員数を増やすことです。

外部拡大とは、ロータリークラブがまだ存在していないところに、新しくクラブを設立してロータリーを拡大し、会員数を増やす活動です。この活動は、地区においてはガバナーと、スポンサークラブの協力で行われ、無地区地域では、国際ロータリー理事会のもとで遂行されます。クラブの拡大は、会員数増加の牽引車的役割を担っています。